

# グラフで見る 県内経済

## 【概況】 緩やかに持ち直している

個人消費は持ち直している。一方、設備投資は増勢が鈍化しており、生産活動は弱含んでいる

### 生産活動

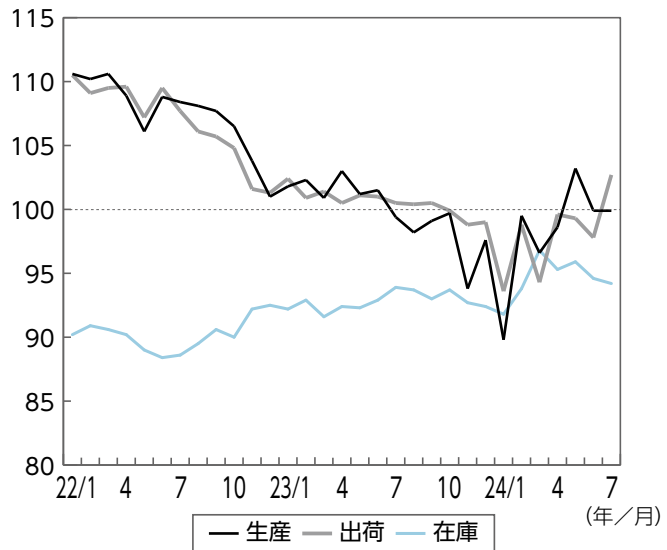
### 弱含んでいる

- ◆ 7月の鉱工業生産指数（季節調整値）は、前月比横ばいの99.9となった。出荷指数は同5.0%上昇の102.7となった。在庫指数は同0.4%低下の94.2となった。
- ◆ 食料品はスーパーやドラッグストアなど量販店向けが堅調に推移しており、高水準での生産が続いている。
- ◆ 化学は一部で海外向けが減産となっているものの、DX関連の需要の高まりによって好調な動きも出始めており、持ち直しの兆しがみられる。
- ◆ 汎用・生産用・業務用機械は国内の大型建設工事向けなどが堅調である一方、中国などからの受注減速が長期化しており、横ばいで推移している。
- ◆ 金属製品は作業工具や家庭向け調理器具などを中心に、弱い動きとなっている。
- ◆ 5-7月期の3カ月平均値でみた在庫循環図<sup>(注)</sup>では、「在庫積み上がり局面」にある。

(注) 在庫循環図: 出荷と在庫の伸び率を比較することによって景気循環を判断する図。在庫循環図では景気循環に応じて、①意図せざる在庫減局面→②在庫積み増し局面→③在庫積み上がり局面→④在庫調整局面、という動きとなり、理論上は反時計回りで変化する

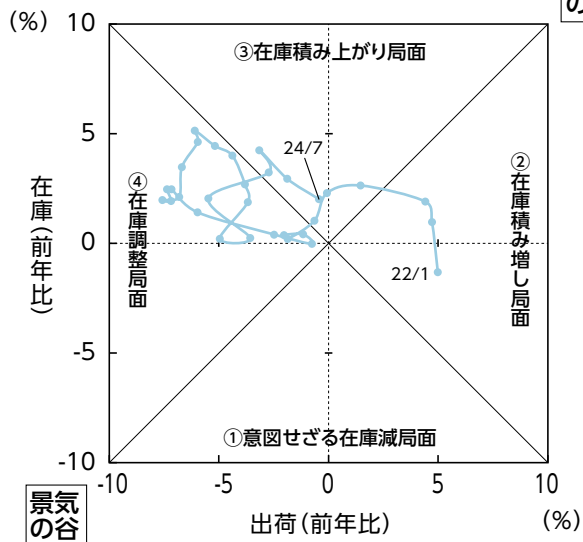
鉱工業(生産・出荷・在庫)指数(季節調整値)

(2020年=100)



(資料) 新潟県「新潟県鉱工業指数」

在庫循環図(3カ月平均)



(資料) 新潟県「新潟県鉱工業指数」

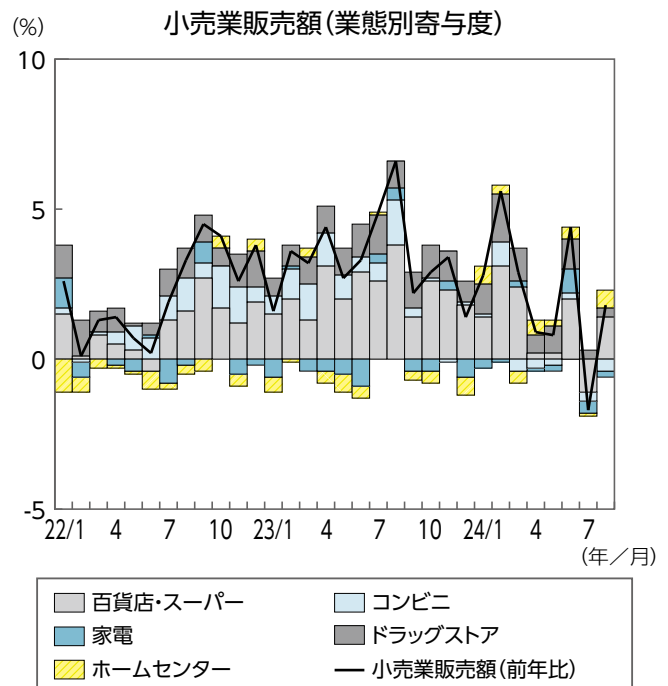
(注) 指数は3カ月後方移動平均で算出

個人消費

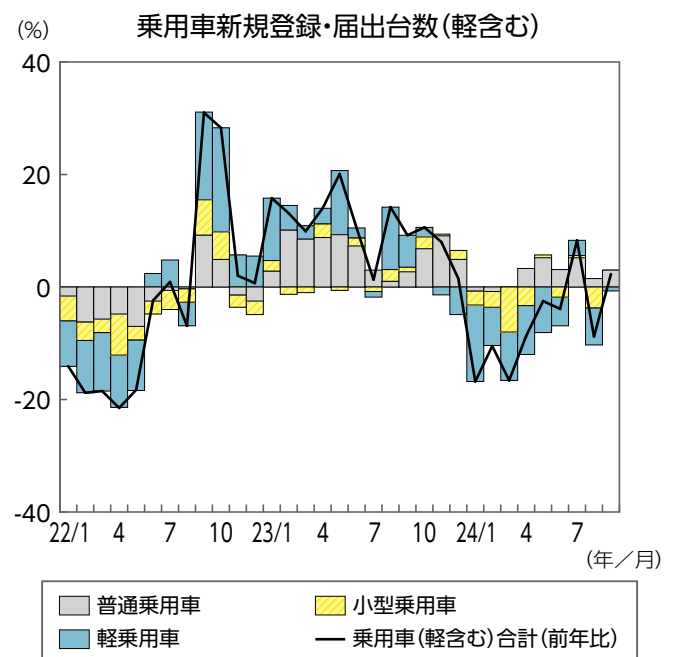
持ち直している

- ◆ 8月の小売業販売額<sup>(注)</sup>は前年比1.8%増となった。百貨店・スーパーやホームセンターなどの増加により、2カ月ぶりに前年を上回った。
- ◆ 9月の乗用車（軽含む）新規登録・届出数は前年比2.3%増となり、2カ月ぶりに前年を上回った。
- ◆ 普通乗用車の新規登録・届出数は、前年比9.8%増の2,334台となった。
- ◆ 小型乗用車の新規登録・届出数は、前年比横ばいの1,465台となった。
- ◆ 軽乗用車の新規登録・届出数は、前年比1.4%減の3,364台となった。

(注) 小売業販売額:経済産業省「商業動態統計」の百貨店・スーパー、家電大型専門店、ドラッグストア、ホームセンター、コンビニエンスストアの全店販売額を合計したもの



(資料) 経済産業省「商業動態統計」

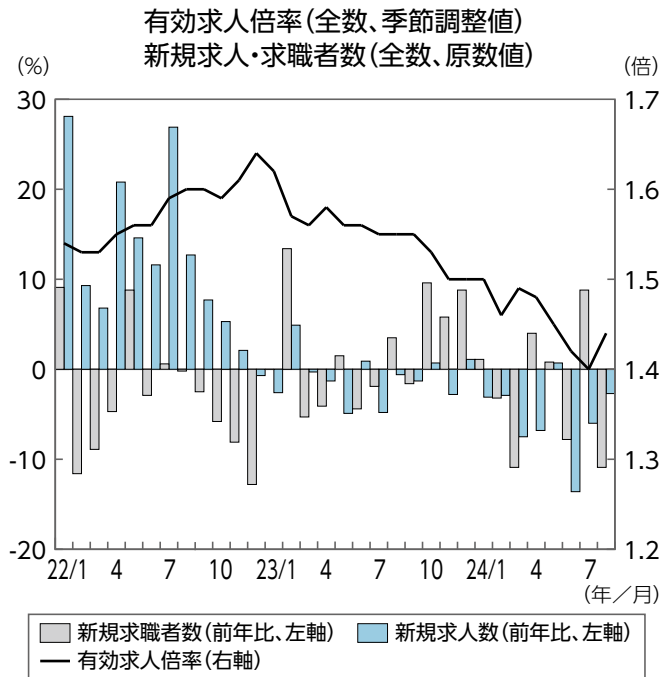


(資料) 国土交通省北陸信越運輸局新潟運輸支局「新潟県新車新規登録・届出数調」

## 雇 用

### 横ばいで推移している

- ◆ 8月の有効求人倍率（パートタイム含む全数・季節調整済）は1.44倍となった。前月比0.04ポイント上昇し、5カ月ぶりに前月を上回った。
- ◆ 8月の新規求人数（同・実数）は前年比2.7%減となり、3カ月連続で前年を下回った。医療・福祉や宿泊業・飲食サービス業などが減少したものの、労働需給の逼迫は続いている。
- ◆ 雇用保険の受給資格決定件数は2カ月ぶりに前年を下回った一方、受給者実人員は18カ月連続で前年を上回った。

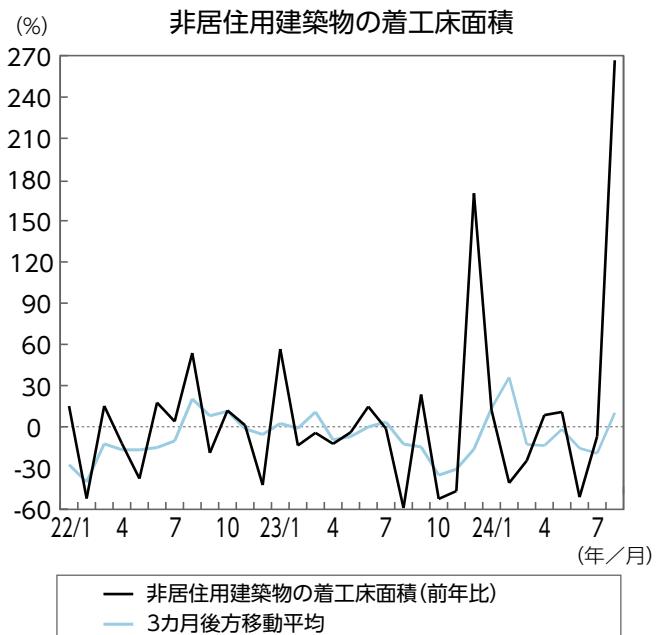


(資料)厚生労働省新潟労働局「一般職業紹介状況」  
厚生労働省新潟労働局「労働市場月報」

## 設備投資

### 増勢が鈍化している

- ◆ 製造業では、生産性の向上や効率化を目的に、情報化や省エネルギーへの投資が続いているものの、工場新設の動きは一服感がみられる。
- ◆ 非製造業では、小売で新店舗出店のための投資額が増額となっている。一方、建設では前年に土地購入や設備の導入など大規模な投資があった反動がみられる。
- ◆ 8月の非居住用建築物着工床面積は前年比266.8%増となり、3カ月ぶりに前年を上回った。

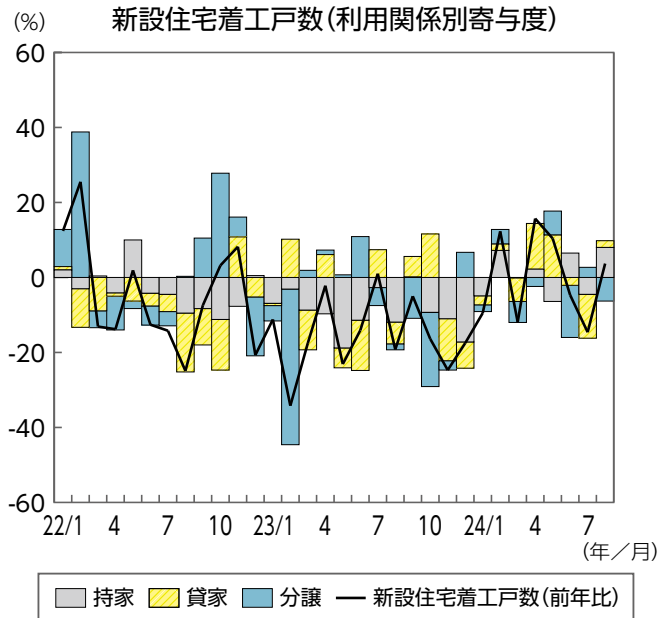


(資料)国土交通省「建築着工統計」

住宅投資

下げ止まりつつある

- ◆ 8月の新設住宅着工戸数は分譲が減少した一方、持家などが増加したことから、前年比3.7%増となった。3カ月ぶりに前年を上回り、一進一退の動きが続いている。
- ◆ 持家の着工戸数は、前年比13.0%増の452戸となった。
- ◆ 貸家は前年比7.2%増の178戸となった。
- ◆ 分譲は前年比48.8%減の43戸となった。

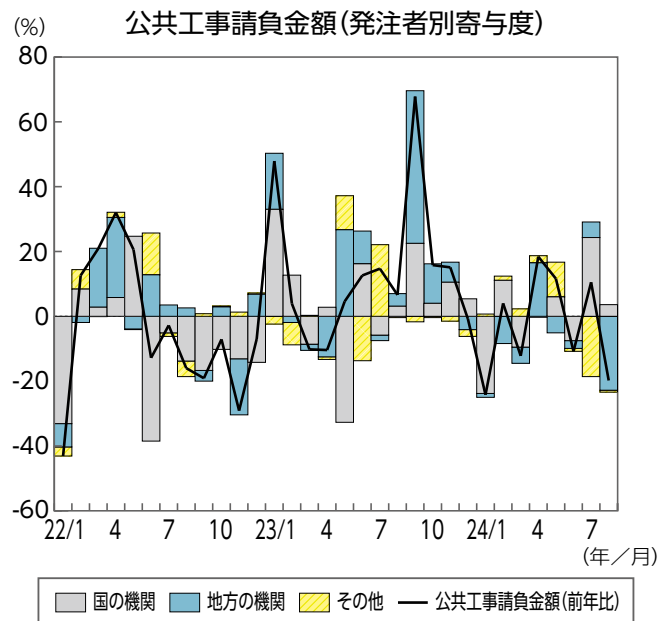


(資料)国土交通省[建築着工統計]  
 (注) 新設住宅着工戸数には、給与住宅の着工戸数も含まれる

公共投資

横ばいで推移している

- ◆ 8月の公共工事請負金額は前年比19.8%減となった。県や市町村などの発注額が減少し、2カ月ぶりに前年を下回った。
- ◆ 国の機関（国、独立行政法人等）は2カ月連続で前年を上回った。
- ◆ 地方の機関（県、市町村）は2カ月ぶりに前年を下回った。



(資料)東日本建設業保証(株)新潟支店  
 「前払金保証実績からみた公共工事の動向」